

あいち障害者センターNEWS(号外)

2026年9月

(講師派遣・研修版)

発行:NPO あいち障害者センター

「くらし」の中の性、基本的学び

木全和巳氏
寺部佳代子氏

2026年9月26日(土)
13:30~15:30

2026 センター連続講座第1弾

「くらし」を考える連続講座

- 1 5/30 発達と障害理解
- 2 6/13 「くらし」に関する制度と現状
- 3 7/25 日中の「くらし」と朝晩の「くらし」
- 4 9/26 「くらし」の中の性、基本的学び
- 5 10/31 「私のくらしシート」を通した当事者の思い
- 6 11/28 参加者の実践を踏まえたケース検討

- ・事業所の研修の場として、
 - ・学生の学びの場として、
 - ・家族、当事者の思いを受け止める場として、
- 兵庫高アビ中心に 参加者へ 提供いたします
- たくさんの皆さんと共有したいので、
特別価格にて開催します！

参加費：1500 円/回

- 参加講座：②個別参加（参加希望の回の番号または日付）
- 所属：①一般 ②センター賛助 ③障害当事者・家族・学生
- 参加方法：①会場 ②オンライン(zoom)
- お名前（ふりがな）：
- メールアドレス：
※添付文書が受けとれるメールアドレスを
- 連絡できる電話番号（携帯電話）：
- 住所：
※事業所等の住所を選択された場合は、事業所名まで

- 振込先：お申込み後、以下の口座に入金をお願いします。
- ①銀行口座：ゆうちょ銀行（9900）〇八九店（089）当座 0078563
- ②払込取扱票：00810-0-78563 ※払込取扱票用紙をご希望の方は連絡ください。
- 加入者名：特定非営利活動法人 あいち障害者センター
- ・送金手数料はご負担をお願いします。・ご欠席時の払戻しは致しませんご了承ください。



最寄駅：
地下鉄熱田神宮伝馬町駅
名鉄神宮前駅
※駐車場はありません。

やっぱり実物でないと

木全 和巳

もう30年以上前の出来事です。知的には中度くらいの自閉スペクトラム症の青年と作業をしていた時のことです。たまたま彼が卒業した養護学校から、在校生が作業見学に来ました。その中に、彼が好きだった女子生徒がいました。その子がいることに気づくと彼の顔がポッと赤くなりました。そして、作業を急に一生懸命やりはじめたのです。彼女に自分のがんばっている姿を認めてほしかったのでしょう。どこの作業所でも見られる光景かもしれませんが、機能しょうがい重い青年の異性への性的関心の発見は、私にはとても大きな気づきとなりました。あこがれや恋のちからは大きいと。

後日談です。集中力が続かず、すぐに席を離れ、飛び跳ねてしまう彼。好きな彼女の写真を机に貼ってみました。これで少し落ち着いてくれれば。始めは興味をもって、彼女の名前を「〇〇さん」と連呼していました。私たちも「〇〇さん見てるね」と応答。「お仕事がんばろうね」と対応していました。この作戦、10分もちませんでした。やっぱり本物でないと。

一方的な強い思いだけでは、長続きしないようです。関わった素敵な思い出も含め、内面の彼女が頑張っってねと声をかけてくれているような体験とその内面化が、「がんばり」の原動力の一つです。いっしょにレクリエーションや作業をする。余暇を楽しむなど、日常的な素敵な関わりの積み重ねが豊かな内面を育みます。小さい時からの「なまみ」のからだを通したルールあるふれあいの文化の積み重ねが大切です。こうしたふれあいやすしさを育み、暴力的な感情も押さえるちからになります。「腕一本離れなさい!」という「ダメ」「禁止」では、豊かな情感を育むことはできないのです。

【プロフィール】

木全 和巳 氏 日本福祉大学 社会福祉学部 教員

児童養護施設 旧知的障害児施設、旧情緒障害児短期治療施設の職員を経て、2001年より、日本福祉大学の教員に。“人間と性”教育研究協議会障害児者サークル世話人、全国障害者問題研究会全国常任委員として性と生の分科会も25年以上続けてきた。

近著に『ソーシャルワークってなんだろう?』（全国障害者問題研究会）、『しょうがいのある人の性トラブルを多角的に考える』（クリエイツかもがわ）。『“しょうがい”のある思春期・青年期の子どもたちと“性”』、『くしょうがい』とくセクシュアリティの相談と支援』なども。

■「つなぐ」連続講座Ⅱ

好評だった昨年度の連続講座「繋ぐ」講座も、12月以降に継続開催します。ライフステージを踏まえて、子どもが青年に、そして成人になっていく道行をどう豊かなものとしていくのか、関係者で考え合ひましょう。

12月 5日 中学生になって

1月 9日 18歳を迎えて

2月13日 「くらし」講座から見えてきたこと

学びは「くらし」のなかに

寺部 佳代子

ここ数年、ある放課後等デイサービスで、夏休みと冬休みに「こころとからだの学習会」を行っています。利用日数によって参加できる回数は異なりますが、休み中に全員が一度は参加できるように機会を設けています。中重度の知的障害や発達障害があり、発語のない子も多い中高生の事業所です。初回は、何が始まるのか、私は一体何者なのか分からず、不安もあったのでしょう。参加を拒む子、離れたところから様子を見る子、スタッフにしがみついて顔を伏せる子、反対に興味津々で私に近づき、飛び跳ねたり、教材に触れたり、大きな声で話しかけたりする子もいました。まとまりなく始まった学習会でしたが、無理に話を聞かせようとする必要はないとスタッフに伝え、私はいつものように話し始めました。すると、さすがは中高生。自分のからだのこと、人とかかわりのことへの関心は高く、二回目以降、みんなが輪になって話を聞こうと集まる姿が見られ、その姿はスタッフたちを驚かせました。

この夏、中学三年生のAくんが、上級生から性器を触られるという出来事がありました。Aくんは発語はありませんが、家に帰って母親に「だいじ、だめ」と筆談で訴えたそうです。自分の身を守るために大切なことを、Aくんは学び、知っていました。そして、信頼できる大人に伝えてくれました。会話によるコミュニケーションが難しい子どもたちとのたった半年に一度の学習会ですが、「この子たちに性教育なんてわかるのか」と半信半疑だった大人たちに、学ぶことの意味、くり返し学び続けることの意味を教えてくださいました。

たびたび学習会を開くことはできなくても、日々の「くらし」のなかには学びのテーマがあふれています。何に気づき、どんな言葉を交わし、何を共有したいと思うのか。いっしょに笑い、泣き、悩む…。そのような経験の積み重ねが、お互いの大切な学びになっていることを、私たちは知っておかなければなりません。伝えてくれたAくんが、「自分が伝えることで、困っている状況を変えられる」と感じられる経験を重ねていくためにも、私たちは日々受け取る「くらし」のなかのメッセージに、丁寧に向き合っていきたいと思います。

【プロフィール】

寺部 佳代子（てらべ かよこ）氏 社会福祉士

児童デイサービス、放課後等デイサービスなど、17年間障害児の支援に携わり、2018年からは相談支援専門員と保育所等訪問支援員をしながら、施設や事業所、学校等で支援者・保護者・児童生徒向けの「性のはなし」や相談会、障害のある青年・成人向けに性教育を含む「学び」の支援などを行っている。“人間と性”教育研究協議会障害児者サークル世話人、全国専攻科（特別ニーズ教育）研究会役員、青年サークル『カレッジP』代表

2026 センター講座～竹沢氏と学ぶ講座

■子どもと障害を持つ人がみえてくる実践の記録

11月1日（日）13：30～16：00 ※zoom 併用

センターの紹介



学び、交流しましょう！

子どものこと、仲間のこと、「ああ、みんな同じなんだ」「ああ、そう考えればいいんだ」「あるある～」を、家族も、支援者も、関わるみんなで思いを共有し、今のこと、明日のこと、ホッとできる時間を過ごしましょう。どなたでも参加できます。

施設・事業所のスタッフ研修の場に
保護者の思いを受けとめる研修の場に
仲間の支援を共有できる研修の場に
事業所だけでは広がらない学習の場に
センター講座をご活用ください。

発達理解講座、 保育・療育講座
子どもの捉え方、 実践記録の書き方講座

出前講座・講師派遣もご相談ください！

こんな曜日に、こんな時間に、こんな話を聞いてみたい…
ご要望にあわせて伺います。

センターの応援団になってください。

■賛助会費：(法人・事業所・団体) 年間 1 □ 10000 円

■賛助会費：(個人) 年間 1 □ 2000 円

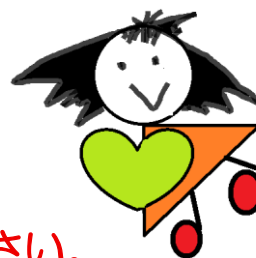
※センター講座は、賛助会員割引があります。

※センターエレベーター修繕募金にご協力ください。

①郵便振替(払込取扱票) 00810-7-78563

②ゆうちょ銀行 ○八九店(089) 当座 0078563

特定非営利活動法人 あいち障害者センター



地下鉄名城線「熱田神宮伝馬町」徒歩 7 分

名鉄本線「神宮前」徒歩 7 分

市バス「神宮東門」徒歩 7 分

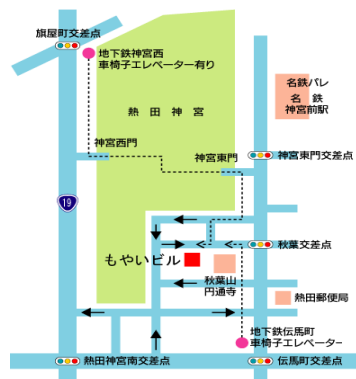
※駐車場はありません。近隣のコインパークをご利用ください。

NPO あいち障害者センター

住所：名古屋市熱田区神宮 2-3-4 もやいビル

電話：052-682-7911 FAX：052-682-7916

メール：asc732@spa.nifty.com (講師派遣・研修用)



学習したあとは熱田神宮へ散策！

ホームページ：<https://npo-asc.jp/>